

岡山大学自然生命科学研究支援センター  
動物資源部門鹿田施設 学外者利用料金表

2024年 12月 改定

1 飼育料金

(1) 通常飼育料金(以下の表に基づき算出する。)

げっ歯目動物 ※(1日1ケージあたり※ <sup>1</sup> )		げっ歯目動物以外 ※(1日1匹(羽)あたり)	
動物種	飼育料(円)	動物種	飼育料(円)
マウス	150	イヌ	3,000
ラット	246	コモンマーモセット	1,950
ハムスター	246	カニクイサル	3,000
スナネズミ	246	ニホンザル	4,500
その他げっ歯目動物 (マウスケージ)	150	ブタ・ヤギ	3,750
その他げっ歯目動物 (ラットケージ)	246	ウサギ	900
		モルモット	165
		ヒヨコ (1ヶ月齢未満)	150

※<sup>1</sup>げっ歯目動物のケージあたりの最大収容数は手引きの別項を参照。

【備考】記載がない動物種の収容は要相談(他の施設で収容できるものがある)。

(2) 特殊実験区域飼育料金・ケージ管理料金(1日1ケージあたり※<sup>1</sup>で以下の表に基づき算出する。)

特殊実験区分	マウスケージ(円)	ラットケージ(円)
感染実験区域(BSL2)	225	264
感染実験区域(BSL3)	375	396
化学暴露実験区域※ <sup>2</sup>	150	246
その他区域※ <sup>3</sup> 等	225	264

※<sup>2</sup>化学暴露実験区域で使用するケージは設置飼育装置専用のディスプレイケージ(実費負担:マウス用3,400円、ラット用4,500円)を用いる。

※<sup>3</sup>感染実験区域並びに化学暴露実験区域を除いた昼夜逆転実験等、特殊な条件で実験を実施する区域

## 2 実験室等使用料金

実験室使用料金<sup>※4※5</sup>は以下の表に従い使用時間を元に積算する。

実験室の名称(室番号)	利用料(円)	備考
感染実験室(1115)(BSL3) 化学暴露実験室(3110)	2,700円/1時間	
感染実験室(1118)(BSL2 セーフティキャビネット使用料)	1,800円/1時間	
特殊実験室(3103)	1,800円/1時間	
メインウェットラボ・ハーフ(1201)	25,200円/4時間	
メインウェットラボ・フル(1201)	108,000円/日	多目的研修室等の利用料を含む。
サブウェットラボ(1202)	50,400円/日	原則として支援業務用スペース、貸与はやむを得ない場合のみ実施。
多目的研修室(1302)	21,600円/2時間	メインウェットラボ・フル利用者以外で利用する場合に適用
移植実験室(2201)	54,000円/日	移植細胞調整室の利用料を含む。
移植細胞調整室(2207)	7,200円/4時間	
3Fラット実験室(3118) 3Fマウス実験室(3122)	条件による	共用テーブル使用は無料。テーブル専有の場合、実験台スペース料を適用
マウス特殊飼育室(3104) マウス代謝測定室(3123) 測定機器室(3124)	7,200円/日	飼養保管に関する料金は別途徴収
X線CT室(2209) ウサギ手術室(3201) マーモセット手術室(3211)	5,400円/4時間	
スナネズミ実験室(3202) ハムスター実験室(3210)	条件による	共用テーブル使用は無料。実験台を専有する場合、実験台スペース料を適用
4F第二実験室 4F第三実験室	無料	実験台の専有は認めない
4F第一実験室 4F第四実験室	条件による	共用テーブル使用は無料。テーブル専有の場合、実験台スペース料を適用 <sup>※4</sup>
4F代謝ケージ室(4101)	7,200円/日	飼養保管に関する料金は別途徴収
4Fマウス防音室(4122)	12,600円/日	飼養保管に関する料金は別途徴収
5F明暗コントロール室(5101) 5Fマウス行動観察室(5102)	7,200円/日	飼養保管に関する料金は別途徴収
5F特殊機器設置室(5104)	1,800円/1時間	
5F実験室(5103)	無料	実験台の専有は認めない。

<sup>※4</sup>圧縮空気、吸引、O<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>は配管されているガス種に限り無料で使用することができる。

<sup>※5</sup>消耗品・測定機器・実験台スペースチャージは別に定める。

### 3 管理費・測定機器等設置料・実験台スペース料・消耗品保管料

以下の表に従い使用日数の合計から算出する。

項目	利用料(円)	備考
管理費(一人あたり)	480円 /エリア入場回数	予防衣・マスク・キャップ・グローブ使用料
飼育ケージ貸出料		
マウスケージ1個	75円/日	給水ボトル及び床敷等を含まない。
ラットケージ1個	165円/日	給水ボトル及び床敷等を含まない。
測定機器等の設置料		
共同利用化する場合 <sup>※6</sup>	無料	別途利用料金を徴収して施設が保守を行う。
共同利用化しない場合	750円/日	作業台基準床面積0.4㎡ (約165円/0.1㎡)
実験台スペース料	1,140円/日	実験台基準床面積0.54㎡ (約180円/0.1㎡)
消耗品保管料 <sup>※7</sup>		
中型動物実験室で1個目まで	750円/日	原則として専用パレットの使用、 また容積600Lの容器を使用
同上 2個目以上	2,250円/日	同上 個数毎を積算
その他の実験区域の実験室 (3103室・3110室を除く)	無料	外形容積60L 1個目まで
同上 2個目以上	1,890円/日	同上 個数毎を積算
3103室・3110室で1個目まで	420円/日	外形容積60L 1個目まで
同上 2個目以上	1,890円/日	同上 個数毎を積算

<sup>※6</sup>受け入れの可否は部門長(施設長)が決定する。

<sup>※7</sup>消耗品の施設内保管は一研究グループにつき1個を原則とし、2個以上については専任教員(主任者)が可否を判断する。

4 特殊機器・室使用料金(機器使用料金を含む)

(1) X線照射装置、X線撮影装置

内訳	料金/30分	備考
X線照射装置	10,950円	「特殊機器室使用願」には、30分単位で使用時間を記載する。
X線撮影装置	5,460円	「特殊機器室使用願」には、30分単位で使用時間を記載する。

(2) 小動物用X線CT装置

内訳	料金/1時間	備考
小動物用X線CT装置本体	46,200円	3Fマウス・ラット飼育・実験区域に設置
ワークステーション	3,000円	2Fワークステーションに設置
X線CT装置等撮影代行手数料	1,950円	動線管理上等やむを得ず撮影作業を代行時の付加する追加料金

(3) In vivo imaging system

内訳	料金/1時間	備考
IVIS Lumina	20,150円	感染実験区域に設置
Lumazone	18,150円	化学物質暴露実験室に設置
ワークステーション	3,000円	

(4) 細胞培養・遺伝子導入装置・TG動物作成等

項目	料金	備考
セーフティーキャビネット	無料	
CO <sub>2</sub> インキュベーター	360円/1時間	一日あたりの上限を3,750円とする。
マイクロインジェクション装置	4,560円/1時間	
エレクトロポレーターNEPA21	36,300円/1回	
エレクトロポレーター用電極	5,460円/1回	

## (5) 行動解析装置・代謝ケージラック・明暗コントロールボックス

内訳	料金	備考
行動解析装置 <sup>※8</sup>	1,830円/1時間 <sup>※9</sup>	
代謝ケージラック	1,080円/24時間	
明暗コントロールボックス	1,080円/24時間	
マウス・ラット蓄尿器	1,080円/24時間	

<sup>※8</sup>モーリスの水迷路のようにセットアップ時に水を張る等の作業を必要とする解析装置では、セットアップ状態等で装置を維持・専有しても利用料金の算定時間とカウントしない(要実験室予約)。

<sup>※9</sup>利用時間とは、行動解析実験実施日における最初の実験室入室時からカウントし、同日の全行動解析作業が終了後、同室から実験動物の撤収及び退室が完了するまでをいう。

5 マウス胚凍結・胚移植料金<sup>※10</sup>

業務内容	利用料金	備考
マウス胚・精子凍結	252,000円/回	動物は利用者で準備する。凍結胚から新生仔が得られるか否かまでを確認する。
凍結精子を用いての体外受精及び胚移植	180,000円/回	残った胚を凍結する場合は165,000円/回を追加負担とする。
マウス胚移植	180,000円/回	
ドライシッパー利用料	108,000円/回	輸送中の紛失は利用者負担で弁償とし、故障は施設の負担とする。
マウス胚・精子保存料	1,800円/月	ケーン一本当たり

<sup>※10</sup>微生物検査等が必要な場合は利用者の負担で行う。

## 6 分析料金

### (1) 血液生化学分析<sup>※11</sup>

測定項目	利用料	測定項目	利用料
グルコース (GLU)	1,044円	GOT (AST)	1,440円
尿酸 (UA)	1,044円	GPT (ALT)	1,440円
総コレステロール (T-CHO)	1,620円	乳酸デヒドロゲナーゼ (LDH)	1,044円
トリグリセリド (TG)	1,440円	クレアチンキナーゼ (CPK)	1,044円
尿素窒素 (BUN)	1,044円	GGT ( $\gamma$ -GTP)	1,800円
総ビリルビン (T-BIL)	1,044円	アミラーゼ (AMYL)	1,800円
カルシウム (Ca)	1,044円	アルカリフォスファターゼ (ALP)	1,044円
総タンパク (TP)	1,044円	クレアチンキナーゼアイソザイム (CKMB)	2,160円
アルブミン (ALB)	1,044円	コリンエステラーゼ (CHE)	2,160円
無機リン (IP)	1,080円	Na-K-Cl	5,040円
マグネシウム (Mg)	1,044円	ヘモグロビン (Hb)	1,044円
HDL-コレステロール (HDL-C)	5,040円	C反応性タンパク質 (イヌのみ対応可)	5,040円
血中アンモニア (NH <sub>3</sub> )	2,160円		
クレアチニン (CRE)	1,044円		

<sup>※11</sup>分析機器の操作は職員が行う。

### (2) 血球数測定<sup>※11</sup>

利用料	測定項目
1,080円/依頼 +360円/測定件数	イヌ・ネコ：RBC、WBC、HGB、HCT、PLT+LY、MO、EO、GR その他の動物：RBC、WBC、HGB、HCT、PLT

<sup>※11</sup>分析機器の操作は職員が行う。

7 中型動物ウェットラボ技術支援<sup>※12</sup>

業務内容	利用料金	備考
不動化・麻酔導入	22,500円/回	不動化から気管挿管等まで (利用料金に麻酔導入薬代が含まれる。)
麻酔維持管理	75,000円/回	術中の動物モニタリング/緊急時対応
術後ケア	7,500円/日	術後当日からのケア(概ね3日程度)
da Vinci 基本使用料	37,500円/日	メーカー保守終了のため保守整備は行わない。

<sup>※12</sup>技術支援における条件等

(1) 鹿田施設内の中型動物実験室での実施であり、原則として同施設の業務時間内での実施であること。ただし、休日等開催の講習会には柔軟に対応するが、事前に施設職員と打合せが必須。

(2) 上記には、中型動物実験室利用料金、動物飼育料金及びその他、必要とされる施設の利用料金は含まれていない。

(3) 使用する消耗品は利用者が用意する。ただし、消耗品等は施設在庫品を利用することができる。この場合、使用した消耗品代は実費(購入単価を元に算出し、100円もしくは10円未満を切り上げた金額)をもとに、出来高で計算し、その合計額を利用者の負担とする。

(4) 実験動物の状態確認は動物実験実施責任者の責務であることを念頭におくこと。

(5) 本業務への依頼の有無に関わらず、本施設に収容している実験動物に関しては施設の獣医師(専任教員)の判断で術後ケアを行う場合がある。その場合、所定の利用料金、例えば、不動化や術後ケアの利用料金及び消耗品代の合計額を利用者の負担とする。

(6) 抜糸は原則として利用者が行うが、施設に依頼することもできる。この時には、所定の利用料金、例えば、不動化や術後ケアの利用料金及び消耗品代の合計額を利用者の負担とする。

8 その他

項目	利用料金	備考
ホルマリンガス滅菌器	3,600円/回	
高圧蒸気滅菌器	3,600円/回	
給水寒天	750円/個	
営巣材	114円/袋	
手術顕微鏡	1980円/1時間	3118に設置
試験飼料及び水管理 <sup>※13</sup>	105円/ケージ	1日あたりで通常飼育料金に加算する。
感染実験区域試験飼料及び水管理及び死体処分管理 <sup>※13※14</sup>	1,800円/ケージ/日	1日あたりで通常飼育料金に加算する。

<sup>※13</sup>げっ歯目動物のみ対象とし、長中期間の出張等によりやむを得ず研究者自身による給餌・給水ボトルの準備と交換作業等が実施できない場合にサービスを提供。

<sup>※14</sup>適用範囲を累計3日/年までに制限。

## 9 マウス・ラット実験技術講習会料金及び個別技術指導料金

項目	利用料金	内容
定期講習会受講料金 <sup>※15</sup>		
マウス	12,000円/名/回	マウス2匹及び実験動物用翼付採血針3本
ラット	12,000円/名/回	ラット1匹
フォローアップ指導1時間	8,800円/名/回	岡山大学動物実験教育訓練を受講し、知識確認試験で合格点を得た研究者に限る。

<sup>※15</sup>開催日時を本部門で指定して実施する技術講習会を定期講習会と呼称する。  
また、後援する関連学協会がある場合には、後援内容で割引を行う場合がある。

## 10 備考

9の項目を除き、上記の利用料金に消費税を含まない。